

吉

(yoshi)

市川市立第七中学校 校長だより
No.2 令和7年5月15日
学校教育目標
「豊かな心を培い、たくましく生き抜く力を育てる」
～ 多様性を認め自他を大切にする～



『Explosion』～爆ぜろ七中魂～

5月13日に体育祭を実施しました。10日が悪天候のため延期しましたが、晴天の中、熱中症にも気を付けての実施となりました。平日にもかかわらず、今年度もPTAやおやじの会など多くの方々に支えられ、開催することができました。早朝から、グラウンドの整備等、準備・協力をしてくださり感謝いたします。

生徒たちは3年5組の生徒が考案した「Explosion」～爆ぜろ七中魂～のスローガンのもと、競技に、係活動に、応援に、全力で取り組んだ1日となりました。中学校の体育祭は生徒たちが主体的に活動する場面を大勢の前で表現する場です。それは1つ1つの競技に参加する選手はもちろん、その競技を支え運営する委員会・係活動も同様です。

また、今年度は2・3年生全員で体育の授業の中で練習していたダンスを披露する機会もあり、体育祭を通して、学年・クラス・仲間との「絆」がより強まり、生徒一人ひとりの胸にはあつい「七中魂」が爆ぜたことと思います。



おやじの会のメンバー



2年テルタボールキャリー



部活動対抗リレー



3年ムカデ競争



1年台風の目



二人三脚

教育実習生

5月7日（水）から前期6名の教育実習生が来ています。今年度も前期5月、後期10月の2回に分けて合計11名の七中や近隣中学の卒業生が本校で教育実習を行います。

中学校現場の多忙化はここ数年で徐々に改善されつつあります。今後はさらなる改善も期待できます。3週間の実習で教員になる意志を固めてもらえばと、思います。本校に教育実習に来ている大学生は、大学での目的意識をもって授業に臨み、教員免許取得のため一般の大学生より多くの単位を取得し、教育実習にまでこぎつけてきたことだと思います。

生徒とともに学び自分自身を高め、未来の教師を目指し頑張ってもらいたいです。



部活動について（部活動保護者会）

部活動は教育活動において、社会性とコミュニケーション能力を身に付けることができる大切な機会です。市川市では学校部活動の運営方針が3年前に改訂され、本校でもこの運営方針に基づいて活動しています。

さて、本校に限らず現在の中学校教師の実情は、残業時間の過労死ラインを超えている教職員が多く存在し、部活動顧問のなり手がない、さらに教職員自体のなり手さえ不足している状況です。また、何とかお願いして部活動顧問を引き受けてくれた教職員の中には担当する部活動の活動経験がなく、専門の指導のために勉強しながら指導している教職員が多くいます。これから部活動の在り方は『生徒にとっても教職員にとっても魅力ある部活動の実現』に努めなければなりません。

部活動を支える環境整備としては一般に次の5点が大切です。

- 1 学校規模や実情に応じた部活動の設置
- 2 可能な限り複数顧問体制
- 3 外部指導者の活用
(市川市では令和10年度には休日の部活動は地域展開を完了する予定で推進していきます)
- 4 参加する大会の精選
- 5 保護者との協力

子供たちの健全な育成のためには、学校と家庭が良きパートナーとなって目的を共有して取り組むことが大切です。特に部活動に対しては「取り組みの意欲」に学校と家庭・生徒の間に、開きがある場合があります。部活動ごとに実施される保護者会や休日などの部活動の参観などで各顧問とコミュニケーションを取り、この開きを縮めていただきお互いの協力体制を整える場にしていただければ幸いです。

家庭・生徒との意見交換を通して生徒の主体性を尊重し、短い時間でも効果が得られる部活動にしていきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

文責 校長

※学校ホームページにはタイムリーな学校の様子等がアップされています。

緊急時の連絡をお伝えすることもあります。HPの登録をお願いします。 ⇒

